

沈水植物

# 水面を覆い尽くし流れる切れ藻が水利施設に押し寄せる

発行／2022年3月改訂 農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課

## ■ オオカナダモ 重



日本には雄株しかなく、種子はつからない。  
(写真は6月)



幅2～4.5mmの葉を3～6枚ずつつける。



## ■ コカナダモ 重



日本には雄株しかなく、種子はつからない。  
(写真は6月)



幅1～2.5mmの葉を3枚ずつつける。



## このような被害が出ます!!

オオカナダモが繁茂し、容量が低下することで調整機能が低下  
流出口のスクリーンの目詰まりを起こして、水が溢れた吐出槽。(写真は11月)

オオカナダモが柱に引っかかり、閉まらなくなった取水口の水門。  
(写真は7月)

**調整機能の低下!**

**水門の開閉障害!**

**スクリーンの目詰まり!**

コカナダモが詰まったスクリーン

繁茂したコカナダモが流出口のスクリーンに張りつき、通水障害のおそれがあった調整池。(写真は7月)

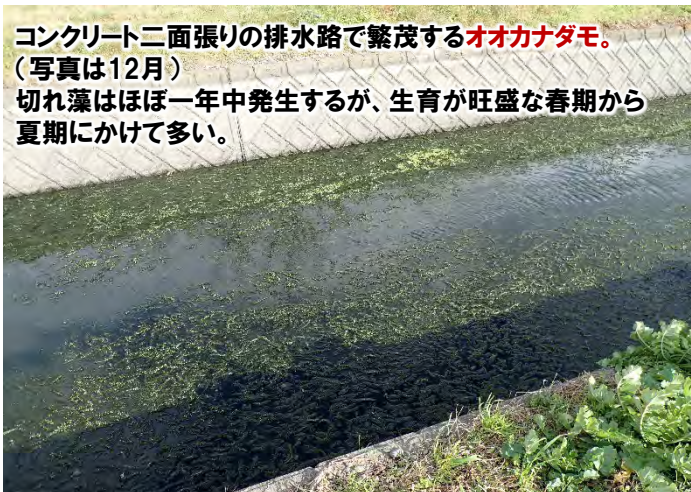
排水機場稼動に伴う水流で流れたオオカナダモが除じん機に絡まり、ポンプが停止。(写真は9月)

**ポンプ停止!**



# ● 生育環境：湖沼、河川、水路、沼池、日当たりの良い停滞水域

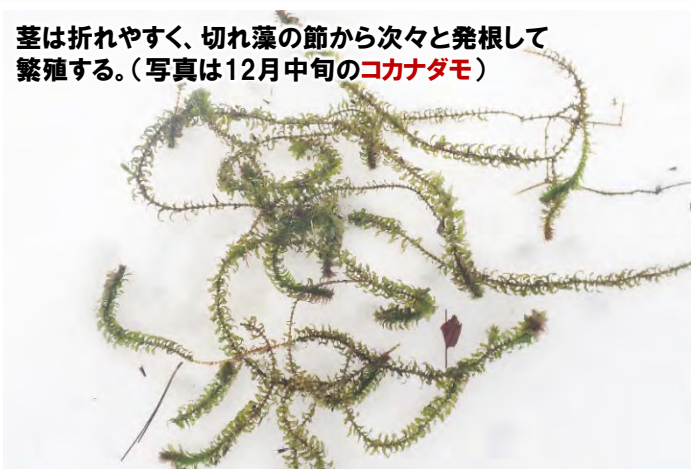
コンクリート二面張りの排水路で繁茂する**オオカナダモ**。  
 (写真は12月)  
 切れ藻はほぼ一年中発生するが、生育が旺盛な春期から夏期にかけて多い。



畑地かんがいの調整池で一面に繁茂する**コカナダモ**。  
 ※土砂が溜まると生育しやすい。(写真は5月)

# ● 繁殖方法：切れ藻の節から発根し増殖 (※日本にあるのは雄株のみで種子はつけない)

莖は折れやすく、切れ藻の節から次々と発根して繁殖する。(写真は12月中旬の**コカナダモ**)



水に流され、ため池の縁に溜まった**コカナダモ**。(写真は8月)  
 0℃以下でも越冬し、暖冬で春に日射が多いと大発生する。



# ● 対策

- 生育量が少ない時期に除去する。
- 切れ藻（莖の破片）からも再生するので、それらもできるだけ回収する。
- 乾燥に弱いので、陸揚げや池干しすれば、枯死する。
- 日本では**種子をつけない**ので、種子から再生するおそれはない。

畑地かんがい用の調整池で実施された重機による**コカナダモ**の除去作業。(写真は5月)  
 池底は重機が進入できるように、格子状にコンクリート化されている。



船からの人力による導水路での**オオカナダモ**の除去作業。

## 本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768  
 東北農政局農村環境課 022-221-6256  
 関東農政局農村環境課 048-740-0515

北陸農政局農村環境課 076-232-4533  
 東海農政局農村環境課 052-223-4631  
 近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417  
 九州農政局農村環境課 096-300-6436  
 沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652